

第10回 D-Wind Rally 『坂東太郎と空っ風』

作成記風コース案内

群馬県の名物をたっぷり味わってもらうために作成しました。名物の一つは、『空っ風』です。風が一番強いのは、やはり川沿いです。昔は橋の上から子供が飛ばされたとの話も聞きます。川と言えば『坂東太郎』です。それから、昨年騒がれた旧石器時代の石器。最初に旧石器時代の石器が発見されたのは、群馬県です。旧石器時代を初め、各時代の名所旧跡をたどります。思う存分、坂東太郎と空っ風をお楽しみ下さい。



夕暮れの坂東太郎(ゴール地点)
この時間にゴールすると最後の
問題が解けません。

いつものように、遠方から来て頂く方のために高速道路ICの近くをスタートとする。今回は、関越道の高崎ICから前橋・伊勢崎方面に約1.5kmほど走った所にあるコンビニ『ファミリーマート』とした。昨年のML-DRC戦の7戦、14戦では、コース上にコンビニが無いと好評(?)だったので、今回はスタート時に買い物を済ませてもらうとコンビニをスタート地点とした。と言う訳ではなく、今回は、コンビニは一杯出て来るのでご安心を。また、今回は信号機もたっぷり出てくるので、DWR恒例の『信号数え問題』はパス。(決して、主催者が数えられなかったためでは有りません。念のため。)

ODは、第2回DWRのスタート地点だった『前橋市・産直ゆうあい館』の少し手前の『前橋東高校』の看板にした。路肩は割と広いが交通量が多いので、すばやく距離をチェックして欲しい。県道を東へ走り、1CPは、最近整備が進んだ『大室公園』とする。ここは、古墳を中心とした公園で、広場も広く子供が走りまわるにはgood。ただ、整備が進み過ぎた嫌いがある。もう少し自然のまま残して欲しかった。問題Aの風のわたる丘でまず空っ風に身体を慣らして欲しい。

1CPからは、県道を南下し伊勢崎の中心街に向う。途中にある『華蔵寺公園』は、ジェットコースターなども有り、この辺りでは大きい遊園地。乗り物なども比較的の低料金。ここをCPにすると家族連れのエンタラントが先に進めないで、通過する。通過する際、問題Cを忘れずに。全国でも数少ない型式の蒸気機関車が見える。伊勢崎市街の中心地に問題Dを設定した。『空っ風』に関係ある(?)問題である。更に南下し、『子供のもり公園』を2CPにした。ここも小さな子供が喜びそうな場所だ。遊具の他、季節が良ければ昆虫採集も出来る風の広場や、子供向けの教室が開催されるまゆドームなど盛りだくさんである。ここにも空っ風に関係有りそうな問題を設定した。

大室公園 (1CP)	古墳と池を中心とした総合公園。まだ整備中の箇所も有るが、広い広場を走りまわるのも良いかも。また高床式住居などを小学生達が参加して復元している。
華蔵寺公園 (4回先)	高さ70mの大観覧車やジェットコースターなどがある遊園地の他、水生植物園や鳥に触れ合えるバードドームなどがある。 入園無料 火曜日定休日 9:30~16:00(3月は~17:00)
子供のもり公園 (2CP)	風の広場の他、遊具やぼうけん山のあるトオカンヤの広場、水遊びのできる光と水の広場などがあり、子供たちが遊びを通して自然に触れる事が出来る。 入園無料

2CPから更に南下し、利根川を渡り埼玉県に入る。畑の中をひたすら走り、道の駅おかべの隣にある『中宿歴史公園』を3CPとした。ここは、奈良時代の大規模な倉庫群跡が発見された場所で、奈良東大寺正倉院と同じ校倉造りと板倉造りの倉庫が復元されている。また、小さいが子供向けの公園が有る。

3CPからは、転じて北上し、再び利根川を渡り徳川氏ゆかりの地尾島に向う。PDQM'97年3月号『埼玉・日本史探訪95km』で、東照宮の側の東毛歴史資料館を訪れているが、今回は、そのものずばり、尾島町徳川にある江戸時代に2つあった縁切寺の内の1つ、満徳寺に4CPを置いた。この近くにも東照宮がある。こっこのいわれは…? 満徳寺は、本堂と駆け込み門が復元されている。駆け込み門の前がCPなので、女性と一緒に参加のエンタラントは、駆け込まれない様に注意! 資料館は、有料であるが、問題にもした変わった側もあり、チョット覗いて見ても良いかもしれない。

中宿歴史公園 (3CP)	奈良時代の倉庫群跡。復元された倉庫の中に入れないのが残念。子供向けの遊具がある公園もある。道の駅おかべが隣接しているので、スタンプを押す人はどうぞ(?)
満徳寺遺跡公園 (4CP)	江戸時代の駆け込み寺(縁切寺)の1つ。もう1つは鎌倉の東慶寺。問題にした資料館にある厠は、縁切り用と縁結び用の2つがあり、「独身と縁切り→結婚と縁結び」「病氣と縁切り→健康と縁結び」などと祈願すれば良いそう(パンフレットより)。 遺跡公園:入場料300円 月曜日休園 9:30~17:00

4CPから更に県道を北上し、日本で最初に相澤忠洋氏が旧石器時代の石器を発見した岩宿に向う。途中、つなぎが長いので、数え問題を設定した。群馬県にはコンビニが無いと思われるかもしれないので、“コンビニ数え問題”。しかし、やはり思ったより少なかった…。

相澤忠洋氏に関しては、昨年のDWR#2で『相澤忠洋記念館』を訪れたが、今回4CPを設定した岩宿文化資料館は、その発見場所に隣接して建てられている。また記念館の前に広がる沼が、相澤氏が石器を発見した時に石器に付着した土を洗った沼である。入館は有料であるが、時間があれば見学して欲しい。女性館員が手に丸めたパンフレットを持って熱弁を振ってくれる。問題〇を設定した岩宿ドームは無料で、ここは老人の説明員が説明してくれる。問題のヒントもくれるかも…。

また、CPを置いた駐車場に隣接して、『火鉢博物館』『かき氷機博物館』という変わった博物館もある。興味のある方はどうぞ。

岩宿文化資料館 (5CP)	発見された石器をモチーフにした外観。日本各地から集められた旧石器時代(岩宿時代)の石器や資料の展示の他、石器造りの体験教室も開催されている。また、2月25日までは、特別企画展として『三内丸山遺跡展』が開催されている。 入場料300円 月曜日休館 9:30~17:00
------------------	--

5CPからは再び南下し、太平記の武将・新田義貞とゆかりがある大平の里・新田町に向う。新田義貞の住まいであったと伝わる反町館跡に6CPを置く。ここは桜の季節が良いのであるが、この季節少し寂しい。

6CPから更に南下し再び尾島を通り、3度目の利根川を渡り、妻沼町に向う。PDQM' 97年3月号『埼玉・日本史探訪95km』の3CPが置かれた場所である『妻沼聖天山』に、今回もCPを置いた。CPのラインも当時と同じ場所とした。クイズは、当時から変わったと思われる(時代の流れを感じる)事柄にしようと思いついたが、こういう所は余り変わらないもので、結局、聖天山とは余り関係ない問題になってしまった。ご容赦を。

妻沼聖天山 (7CP)	北関東ではかなり有名な社だ。この地を治め、後に北陸で木曾義仲との戦いで討ち死にした斎藤実盛が建立した寺で、実盛の有名な故事にちなんだ像がある。妻沼の名物にもう一つ、大きないなり寿司がある。(PDQM' 97年3月号コース作成記より)
----------------	--

7CPから再び利根川を渡り、赤岩渡船の渡し場に向う。利根川には何ヶ所か渡し舟が残っている。ここもその一つ。ここは、橋の無い県道(公道)の途中であるため、渡りたい人は無料で渡してくれる。と言う事で、車では川向こうに渡れないので、ここをゴールとする。試しに渡し舟に乗ってみては如何か? 否、乗るべきかな? 乗る時は、防寒をしっかりと。空っ風を全身に感じながら、最後に坂東太郎(利根川)を間近に見て欲しい。

赤岩渡船 (FCP)	千代田町赤岩と利根川向こう岸の妻沼町葛和田を結ぶ動力船。妻沼側には、サッカーグラウンド、グライダー滑空場などがある。 運行時間は、3月まで8:30~16:30 片道約15分。
---------------	--